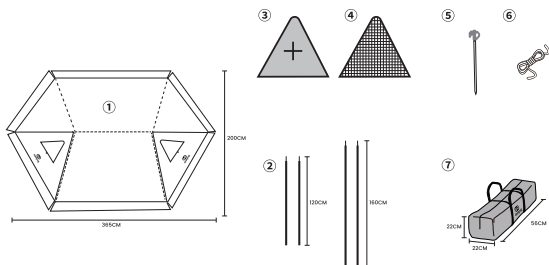


## セット内容



### 製品仕様

#### G・G PUP 2.0 パップテントTC

品番: NMT1-341 組立サイズ: (約) 365\*200\*155cm  
 収納サイズ: (約) 56\*22\*22cm 総重量: (約) 6.3kg

### 製品材質

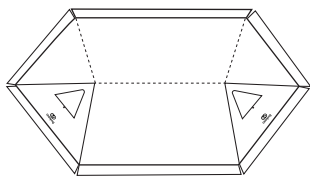
フライシート素材: ポリコットン (ポリエステル系65%+コットン系35%)  
 ポール: アルミニウム ベグ: 亜鉛メッキスチール

### セット内容

- ① フライシート×1
- ② アルミポール×4
- ③ 三角耐熱シート×1
- ④ 三角メッシュシート×1
- ⑤ 夜光ベグ×12
- ⑥ 自在金具ガイロープ×6
- ⑦ キャリーバッグ×1

## 設置方法

### STEP 01 テント本体のフライシートを広げる

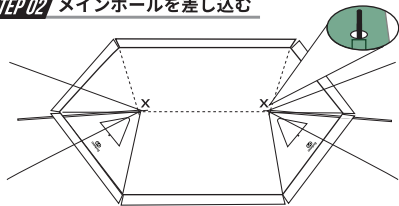


- ① 平坦で障害物のない地面にフライシートを広げます。前後、左右対称です、前後ドアとも入り口になります。テントに向かって立ち、三角窓が前側にある場合、向いている面がフロントドアです。



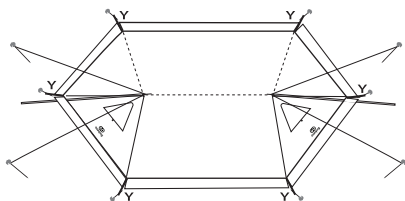
平らな場所を選んでください。傾斜があったり凹凸があると綺麗に張れません。  
**注意** シワが出る原因は、平らではない場所に張ったによるものです。

### STEP 02 メインポールを差し込む

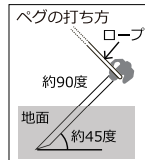


- ② メインポール (短) 2本の先端ピンを内側からフライシートのグロメット (X部分) に差し込み、メインポールを地面に置き、差し込んだポール先端の自在金具ガイロープ (各2本) を結びます。

### STEP 03 フライシートをベグダウンする



- ③ テントの各辺が均等に引っ張られた状態になるように、Y部分のループを順番でベグで固定します。メインポール (短) の先端に結んでいる自在金具ガイロープ (各2本) を45°角度でベグダウンします。



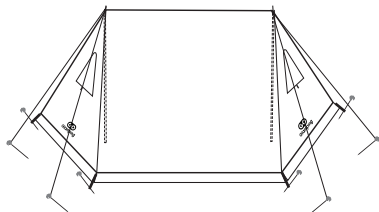
発売元: **GOGlamping**

お問い合わせメール: [goglamping@hotmail.com](mailto:goglamping@hotmail.com)

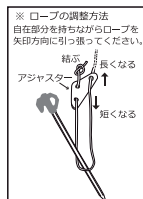
GOGlampingGO 
 goglampingclub 
 goglamping-jp

GOGlampingの製品は「安心保証」が付きますので、製品の初期不良、故障などがある場合は、弊社のお問い合わせメールまでお気軽にご相談ください。全力でアフターサポートいたします。

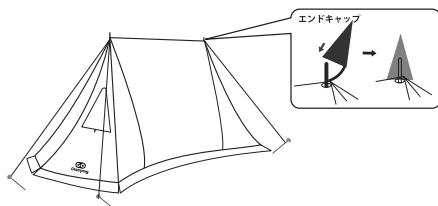
## STEP 04 メインポールを立ち上げる



- ④ 差し込んだメインポール（短）を立ち上げて、ガイロープの自在金具で弛みを調整します。反対側もポールを立ち上げ、フライシートにシワを出ないようにガイロープの自在金具で調整します。

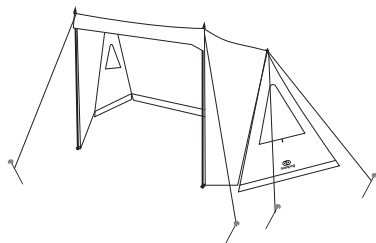


## STEP 05 エンドキャップをかぶる



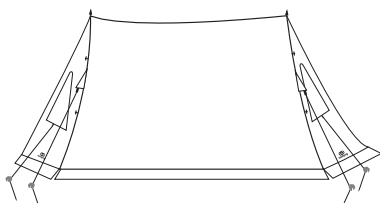
- ⑤ フライシートが付いているエンドキャップ（2個）をメインポールにかぶります。

## STEP 06 サブポールを差し込む



- ⑥ サブポール（長）2本をフライシート先端のグロメットに差し込み、サブポールの先端に自在金具ロープ（各1本）を結び、45°角度でベグダウンします。

## STEP 07 張り網を張る



- ⑦ 状況に応じてテント本体にテンションをかけてください。フライシートの陥没を防ぐため、フライシートの後側左右にある2個ハトメに自在金具ロープ（各1本）を結び、ベグダウンします。また、薪ストーブを使用場合は、三角窓の陥没を防ぐ、テント素材を薪ストーブからとおざけるために、三角窓下部にあるループ（黒）をガイロープを張ってベグダウンします。



三角窓部分の張網用のガイロープとベグは付属しておりません。  
状況に応じてご用意いただきご使用ください。

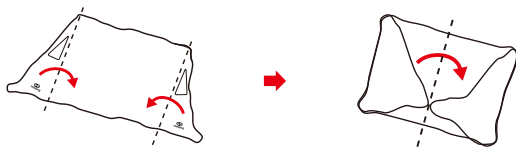
## STEP 01 アルミポールを取り出す



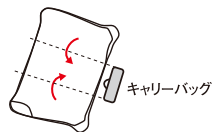
フライシートのすべてのペグ、ロープを取り外します。  
その後アルミポールをテント本体から外します。

**注意** ポールが倒れてケガをする恐れがあります。  
周囲に誰もいないことを確認してからポールを取り外してください。

## STEP 02 フライシートを畳む



サイドウォールのファスナーをラインとして、両端の三角部分を中央へ折り込み、半分にする



長方形を更に縦に折り込み、1/3のサイズに畳む



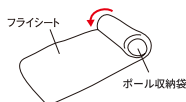
全体を二つ折りに、長方形にする

フライシートを地面に広げ、フライシートのサイドウォールのファスナーをラインとして、両端の三角部分を中央へ折り込みます。

## STEP 03 全体を巻いて収納する



ポール



STEP 1 で畳んだフライシートをポール収納袋を芯にして巻いていく。

アルミポールを全て折り畳み、ポール収納袋に収納し、フライシートと左図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。



生地を濡れたまま収納すると、防水効果が著しく損なわれ、色移りやカビ発生の原因となる為、汚れをよく落とし、十分乾かしてから、収納・保管してください。

## 使用上・保管上の注意事項

本書は製品を安全に使用するために禁止事項を記載しております。  
使用前に必ずお読みください。また必ず製品と共に保管していきましょう。

### ⚠ 警告

- ・ご使用になる前に必ず、本製品の劣化や、表面にキズ・亀裂がないか確認してください。異常のある場合は危険ですので絶対に使用しないでください。
- ・台風、暴風雨の際は絶対に使用しないでください。
- ・ご使用中は天候の変化にご注意ください。突風や豪雨、雷などの悪天候が予測される場合は、使用を中止し速やかに撤収の上、安全な場所へ退避してください。
- ・幼児の手の届かない安全な場所に保管してください。
- ・本来の目的以外では使用しないでください。
- ・他人の迷惑になる場所や、危険な場所で使用しないでください。
- ・ご利用前に一度組み立てし、手順の確認と、付属品に不足がないかをご確認ください。

### ⚠ 注意

- ・必ず周囲の安全を確認し、十分に広い場所で使用してください。(特にお子様がいる場合は、フレームがぶつかったりしないよう充分にご注意ください)
- ・設営及び撤収の際は手袋を着用し、安全に作業をしてください。
- ・取扱説明書に従いすべてのガイロープを確実に固定した状態でご使用ください。
- ・テント内と外気の温度差が大きかったり、使用人数が多い場合は、結露が生じテント内に水滴が付く恐れがあります。
- ・製品に使用している素材は使用頻度に関わらず、湿度、日光、温度などの環境要因により徐々に劣化します。
- ・山岳用、常設、日常使用などの、高頻度での使用は避けてください。
- ・直射日光が常時当たった環境で使用されると、退色や生地の変色が短期間で進み、製品寿命が早まる要因となります。
- ・砂地や河原など、付属のベグで充分な固定が難しい環境では、別途設営状況に合わせたベグをご用意ください。
- ・天災等の不可抗力や、お客様による製品の改造、誤った使用方法、不当な修理、改造による事故や故障、破損等は保証致しかねます。
- ・レンタル業・中古販売における他人への貸し出し・販売・譲渡によって発生した、損害・事故・各部品の損傷・劣化におきましては一切責任をおいかねますので予めご了承ください。

## メンテナンス、保管上の注意

- ・テント全体に撥水加工が施されています。絶対に洗濯機で洗わないでください。また、一切の洗剤を利用しないでください。
- ・使用後は濡れタオルで汚れをよく落とし、乾燥させてから収納、保管してください。  
濡れたままや汚れたまま収納保管すると、カビや臭いが発生したり、色移りする可能性があります。
- ・高温多湿の場所に保管すると生地の劣化を早めます。風通しが良く直射日光が当たらない場所に保管してください。

## TC素材に関しまして

- ・TC素材は綿とポリエステル混紡となり、織りムラや織りキズがどうしても出てしまいます。  
TC独特の風合いとなりますので、多少の染色ムラ、織りムラ、織りキズはご容赦ください。織りムラが原因となる水の浸透は、ほとんどございません。
- ・ポリコットンは火の粉による穴が空きににくい素材ですが、完全に燃えない素材ではありません。テント内での焚き火は推奨していません。  
火の粉の飛び散りにはご注意ください。
- ・TC素材は防水コーティングされたポリエステル生地などは異なり、水分を吸収した際に綿素材が膨張し、雨漏りを防ぐ構造です。  
そのため、張り方が弱かったり、長時間雨に濡れた際には、雨漏りする可能性があります。
- ・フロントフラップを上げた状態では雨が降った場合は、雨がフロントフラップの上に溜まり、テントの破損や雨漏りの可能性がございます。  
必ず水が流れるようフロントフラップを張り上げているポールを片方下げたり、フロントフラップ中央から張網を張って水を流すなどの対応をしてください。
- ・基本的には、雨の日は使用しないことをお勧めします。突発的な悪天候の場合は、防水タープと一緒に使用することをお勧めします。

## テント内にストーブを設置する時の注意点

- ・ストーブをテントの中に入れる場合は、煙突口の傾斜面の配置位置と角度にご注意ください。また、熱源がテントに近づきすぎないでください。
- ・薪ストーブや石油ストーブとテントの距離は必ずあけてください。テント素材と直接接させないでください。  
周辺には燃えやすいものを置かないでください。
- ・テントと煙突の接触部分を十分に断熱してください。煙突ガードなどの断熱対策をご検討ください。
- ・耐熱シートを煙突と直接接させないでください。耐熱シートの穴は、煙突ガードより大きく裁断してください。  
(耐熱シートは融点に達すると正常に溶け落ちます。取り替えを想定した消耗品となります。)
- ・煙突口のカバーをしっかり巻き留め、風で落ちたりしないようにご注意ください。また、煙突が倒れないように固定してください。
- ・ベンチレーターや出入口が閉まった状態で使用すると、酸欠や一酸化炭素による事故の可能性があります。必ず定期的に換気をし、ベンチレーターを開けた状態で使用してください。
- ・お客様による誤った使用方法によって発生した、損害・事故・各部品の損傷・劣化におきましては一切責任をおいかねますので予めご了承ください。  
※ストーブを利用する際は、火災や一酸化炭素中毒に十分留意してください。